

令和5年10月10日

長寿社会課長 窪田 譲

内線 4040

外線 076-225-1415

令和5年度社会参加章伝達式について

内閣府では、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る高齢者（エイジレス・ライフ実践者）や、高齢者が中心となり社会参加活動を積極的に行っている団体を毎年表彰し、長寿社会を生き生きと暮らす好事例として広く紹介している。

このたび、本県が推薦し、令和5年度の紹介事例に決定した3団体に対して「社会参加章」が交付されることとなり、知事より伝達を行う。

- 1 日 時 令和5年10月13日（金）11時30分から
- 2 場 所 県庁行政庁舎4階「特別会議室」
- 3 伝達者 知事
- 4 受章者 グループデイ なごまんかいね（七尾市）
みい
三井地区老人クラブ連合会（輪島市）
さかみ
酒見地区老人クラブ（羽咋郡志賀町）
- 5 伝達品 内閣府特命担当大臣名の書状及び楯

6 受章者の活動概要

①グループデイ なごまんかいね

介護予防体操、歌、交流活動など、高齢者の生きがいの場づくりや介護予防活動に取り組んでいる。また、コロナ禍により外出規制があった際は、安否確認や傾聴を行うなど、高齢者に寄り添う活動も行っている。参加者同士が相手の気持ちを尊重しながら、心配事を話し合える助け合いの場になっているほか、認知症高齢者も可能な限り受け入れ、家族や専門職と話し合いを行うなど、高齢者を支援につなぐ場としても機能している。

②三井地区老人クラブ連合会

高齢化の進む地域において地域づくりの担い手にならなければという意識から、伝統行事である「あえのこと」という田の神様をお迎えする行事の準備から当日進行まで会員が中心となって実施している。また、地域行事に積極的に参加するだけでなく、子どもたちへの伝承にも取り組んでいる。その他、毎年小学校で田植え体験やさつまいもの収穫体験を指導し、子どもたちに貴重な体験機会をつくるなど地域貢献をしている。

③酒見地区老人クラブ

クラブ会員自らが生きがいを高め、健康づくりや社会奉仕、地域社会との交流など、地域を豊かにするための活動を行っている。

地域の環境美化活動として、墓地の清掃や公共施設周辺の草刈り、空き缶拾いを定期的に行い、住みよい地域づくりに貢献しているだけでなく、「地域の宝である子どもたちを地域全体で守り育てる」を合言葉に、世代間交流にも積極的に取り組み、小学校の課外授業に協力し、子どもたちが昔遊びに触れる機会をつくり、遊びを伝承するだけでなく、子どもたちの協調性を育むことにもつなげている。

(参考)

上記ほか、エイジレス・ライフ実践事例（個人）で選ばれた本県の1名（福谷 正信氏）については、推薦元の高齢者関連団体から伝達予定。詳細は内閣府ホームページで公表済。

内閣府ホームページ URL：https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm